

研究課題名

大腸癌術後食の内容が栄養状態変化に与える影響 ―後方視的研究―

1. 研究の対象

2022年1月から2025年12月の大腸切除術症例

2. 研究目的・方法

大腸癌術後の食事を見直した結果、今までよりも早い段階で必要栄養量の摂取が可能となった。提供食量が増えたことで摂取量には影響があるのか、栄養状態にはどのように影響しているかを観察

研究期間

倫理委員会承認日～西暦2027年3月31日

(調査対象期間：2022年1月1日～2025年12月31日)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病名、年齢、性別、身長、体重、BMI、体重変化、血液検査データ（TP、Alb、TCho、TLC、Hb等）食事摂取量術式、術後の消化器症状の有無、手術時間、出血量、術後合併症（SSI等）、併存疾患、人工肛門造設の有無、術後の化学療法の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究は大阪公立大学との共同研究で、情報の解析を行うために「3.研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を大阪公立大学大学院生活科学研究科の共同研究者に共有しますが、大阪公立大学大学院生活科学研究科においても患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

和歌山県田辺市たきない町27-1

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

研究責任者： 南和歌山医療センター 臨床研究部

客員研究員 河部 彩香

電話：0739-26-7050 / FAX：0739-24-2055